

小川有紀子 *Violin* × 西谷牧人 *Cello*

お客様との出逢い……という繭(まゆ)から、演奏を通して少しずつ太い絆に紡いでいく。シルクのような肌触りで、ほんのりと優しい気持ちにさせてくれる演奏とパフォーマンスをご体験ください。圧倒的な演奏技術に裏打ちされ、豊富な経験を併せ持ったハナミズキ室内合奏団メンバーの、生きた本物のアンサンブルをご堪能ください。



©Daisuke Yamagishi

Yukiko Ogawa

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。東京藝術大学首席卒業、英国王立音楽院の大学院を首席卒業。第36回全日本学生音楽コンクール西日本大会中学校の部第1位。第58回日本音楽コンクール入選。東京現代音楽祭室内楽コンクール第1位、併せて第1回朝日現代音楽賞を受賞。第7回東京国際音楽コンクール室内楽部門第2位、併せてルフトハンガ賞を受賞。これまでに、ヴァイオリンを東儀幸、矢嶋佳子、日高毅、澤和樹、ジョルジュ・パウクの各氏に師事、室内楽の指導を岡山潔氏に受ける。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団第2ヴァイオリン副首席奏者。2016年までオホーツク紋別音楽セミナー講師を務めた。また2008年～2016年まで東京藝術大学非常勤講師を務めた。仙台ヴァイオリンセミナー主宰・ハナミズキ室内合奏団主宰。

Makito Nishiya

東京藝術大学大学院修士課程を修了後、アメリカのインディアナ大学にて研鑽を積む。これまでにチェロを河野文昭、菊地知也、堤剛、ヤーン・シュ・シュタルケルの各氏に師事。2005年、佐渡裕氏率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団に第1期生として入団。大谷康子弦楽四重奏団、小松亮太タンゴ楽団、ライブイマージュ、自身のユニット「清水西谷」など、多岐にわたる演奏活動を展開している。2013年度青山音楽賞受賞。また2008～2016年まで東京藝術大学の非常勤講師を務めた。2008年より現在、東京交響楽団首席チェロ奏者。ハナミズキ室内合奏団メンバー。

Program

- ♪ヘンデル… ヴァイオリンとチェロの為のシャコンヌ
- ♪バッハ… 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第2番 イ短調BWV1003
- ♪バッハ… 無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調 BWV1009
- ♪コダーイ… ヴァイオリンとチェロの為のソナタ

2019年
9月20日金 開演19:00(開場18:30)

宮城野区文化センター PaToNaホール

全席指定 《発売日》
2019年6月21日

■一般: **3,500円**
■学生(高校生以下): **3,000円**

※当日券は、500円増
未就学児童のお子様はご入場いただけません。

チケットのお求めは

- チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード:152-482)
- イープラス <https://eplus.jp/hanamizuki-sendai/>
- ローソンチケット 0570-084-002 (Lコード:22040)
- (株)ヤマハミュージッククリエィティング仙台店 TEL:022-227-8553
- 宮城野区文化センター TEL:022-257-1213
- (株)ハナミズキ音楽事務所 担当:日下(クサカ)
HP:<http://hanamizuki-sendai.com/> TEL:070-2644-6015
E-MAIL:hanamizuki@ac.cybehome.ne.jp

お問い合わせは



ハナミズキ音楽事務所

〒981-0915 宮城県仙台市青葉区通町1-7-24-2801
TEL.070-2644-6015 **ハナミズキ音楽事務所 検索**

主催:株式会社 ハナミズキ音楽事務所



Yukiko & Makito Backstage Talk

ヴァイオリンとチェロだけで 演奏会をやってしましましょう!

小川 今回の演奏会の目玉は、バッハを二人とも弾くということなんです。とは言え、どれも目玉に成りうるんだけど(笑)。一番最後のコダーイのデュオというのをおやりになった事はありますか?

西谷 結構あります。

小川 どういったところがお好きですか?

西谷 コダーイは、僕、自分の先生がハンガリー人だということもあるんですけど、その民謡調のメロディーが凄く好きで、しかも民謡の感じって言うのがハンガリーの民謡とジブシーと一緒にするなって言うのを先生に凄く言われたんですよ。「ジブシーのものではない」と。あとは、ハンガリーの民謡調のものが曲の中にいっぱい出てきて、結構日本の民謡に似てるんです。だから意外とコダーイって日本のお客さんが結構すんなり受け入れてくれる。コダーイ、好きですね。

小川 受け入れていただきやすい。それは、確かにそうですね。わたしは、あの曲は、ちょうど留学していた時に、やってみたんだけど、実はその時には「まだ弾くには早い」ってハンガリー人の先生に反対された一曲なんです。他の曲には言わなかったんだけど、これだけはもうちょっと時間かかるよって言われたのに強行突破したの(笑)。その時、先生は泣きながらフィンガリングとか、こうだこうだって教えて下さったんですが、やっぱり無茶苦茶難しかった。それでも先生は、同じアジア人が弾いても日本人は上手いよ、バルトークもコダーイも上手いよ、だから自信もってやりなさい、っておっしゃったんです。想い出の一曲です。

西谷 まあー。

小川 これはこれで目玉。だけど、ひとつのコンサートでバッハをヴァイオリン側もチェロ側も弾くというのは、わたしあまり経験がないのです。

西谷 あまりないかもしれないですね。ヴァイオリンの無伴奏とチェロの無伴奏は、一気に続けて書かれているから。

小川 そうですね。

西谷 ヴァイオリンが先ですか?

小川 そうですね。

西谷 同じ時期のそれぞれの楽器のためのちゃんとしたオリジナルの無伴奏を続けて聴き、それぞれの音色とか、チェロの方は、あのヴァイオリンに比べてやっぱりその細かい音符は減らしてあるし、その分ちゃんと空間ができるように書かれてある。そういう違いが楽しめるのも凄く良いんじゃないのかなと思う。あとは、バッハって日本語にすると小川さんなので、小川さんが弾くしかないですねえ(笑)。

小川 ありがとうございます。頑張りまあ〜。

西谷 そういう事で、ハハハ……。

小川 照準はそこで。仙台のお客様が「じゃあ行くか」

と思ってる下さると良いんだけど(笑)。でも、両方聴けるっていうのは、本当珍しい事だからね。しかも実はPaToNaホールは教会みたいに響くところなのです。

西谷 あ〜!ととても良いですね。

小川 とてもいい気分が弾けるいいホールです。客席に座ってもすっぽりシートにはまるような感じがして、天井も高く、これもバッハを聴くにはとても良いのではないかなと思っていて。

西谷 それは、良いですね。

小川 それで、2人ともバッハを弾くにあたり、プログラムの1番最初は何がいいかなあ、と今回お勧めいただいたのがヘンデルのシャコンヌでございます。

西谷 でもまあ、ヘンデルのパスサカリアが本当にヴァイオリンとチェロではあまりにお馴染みで。

小川 非常に有名な、一曲があります。

西谷 それもとても素晴らしいんですけど、散々やった感もあるし、小川さんともやったし(笑)

小川 はい!やりましたね、昨年。

西谷 というところで、こんな曲あるよって知り合いの東京交響楽団のライブラリアンに教えていただいて。これは同じヘンデルで、パスサカリアとすごい似てるんだけど、そもそも長調なので、G durで。あつちがg mollで短調だけど、コンサートを明るく始められるっていう感じがします。

小川 あーいいですねえ、幸先の良い感じで!

西谷 そうそう!だいぶ似てますよ。ずっと明るくて、ゆっくりしたところではちょっと暗さがあって。

小川 なるほど。これ何分くらいの曲ですか?

西谷 本当に同じくらいで、6分とか7分くらい。

小川 えーそうですね。(楽譜見ながら)ヴァリエーションになっていて、それをどんどん繋げて弾いていくっていうパターンですね。確かに譜面の雰囲気似てますね。

西谷 似てるでしょ? 最後遅くなって終わるのも同じだし。パスサカリアと同じように、チェンバロが原曲の、ピアノでも弾くんだらうけど。人によってはこっちの方が有名みたい。

小川 おっ? そうなの? そうでしたか。じゃ、弦でも弾くんだよって感じになるのかな?

西谷 そう思います。

小川 楽しみですね。そんな感じで、今回は何とびつくりのヴァイオリンとチェロだけで演奏会をやってしましましょう! というものなんですけど、今後仙台の、出来ればPaToNaホールで続けていけたらと思っているんです。ちょっとしたシリーズ化いけるかなーって。これはまだ私の頭の中だけの話なんですけれど、バッハ必ず入れたいなーと。もう最初からバッハは頭にあったんです。でも片方だけ、ある楽器だけ弾いちゃうとちょっと感じが壊れちゃうので。

西谷 じゃ、コンサートを6回シリーズにして全曲やって



しまう。お互い6曲ずつあるの凄く良いことですよ。

小川 あ、そうですね。

西谷 チェロの方は全部楽章も一緒だから、6曲とも6楽章です。

小川 全く一緒なんですか!

西谷 ヴァイオリンはちょっと違いますよね。

小川 舞曲の方がね、バルティータの方の楽章が非常に多いです。2曲ずつセットになってるのがいくつもっていうのもあります。6曲の中で1番好きなのは?

西谷 いや〜、もうこれは選べないですよ。やっぱり本当にどれも良い曲ですから。

小川 それでは、ある意味狂騒すぎてとか、曲が大きすぎて、これは年いってからの方がいいなんていう一曲はあるんですか?

西谷 チェロの場合は結構難しくって。というのが、6番がダントツにスケールが大きいんですよ。難しさもズバ抜けて難しいので、じゃあ歳いってからやりたいかっていうと、それはそれでしんどいから。

小川 じゃあ、早めにやっておくけど練習して練習して、という感じでしょうか?

西谷 チェロの場合は4番までは普通で、5番は調弦を変えるチェロのための曲、6番は五弦チェロのための曲なので、ちょっと5、6番はやっぱり毛色が違う。音楽的にもすごく素晴らしいって。5番がダントツに好きなんですけど、でもすごい暗いってのもあるから、そればかり弾くかって言ったらそんなこともなくて。



小川 じゃあチェロが5番とか6番を弾くときは、ヴァイオリンはちょっと楽なもののカップリングがいいね?

西谷 お客さんとしてはそうかもしれない。

小川 そうですね。だってそこにシャコンヌが入ってるの持ってきちゃうとちょっとね? 今回選んだソナタの2番っていうのは、あまり人前で弾かれないんです。

西谷 何調ですか? 長調じゃないんだっけ?

小川 モー、短調です。a moll。調性が最初全然わからないの。そういう意味では珍しい曲で。フーガがあって緩急4楽章並ぶソナタの形なんですけど、割と難しくあまり弾かれない。学生も試験にも弾かないです。でも私は大好きな一曲です。私はソナタもバルティータも2番が好きなので入れてみて、チェロが明るい方を選んでいただきました。

西谷 明るいを選びました。1番響きやすいC durを。

小川 イイ曲ですよー。

西谷 明るい方は鳴りやすく書かれていて。暗い方は、ちょっと鳴りにくく書かれてるかも……。あえてかもしれないけど、パーっと広がらないような。4番は変ホ長調でめちゃくちゃ弾きにくい。手が痛くなる。

小川 それは、大変ですね。

シリーズ第1回かもしれない今回、『しっとり』と『ワクワク』をお席で堪能していただけたらと思います。

ドッグウッド (Dogwood) 基金サポーター募集!

【ドッグウッド (Dogwood) 基金】

東日本大震災をはじめとする被災地での復興支援演奏会を開催するための基金です。

私たちは、復興支援演奏会で『寄り添う心』『忘れない心』をメロディーに込めて、被災地に音楽をお届けする活動を継続してまいります。

お振込み口座：七十七銀行 本店営業部 普通口座 5052550 株式会社ハナミズキ音楽事務所

(ご参考)復興支援演奏会の1公演当たりの経費は、地域や編成規模によって変化しますが、総額は、概ね20万円から80万円必要です。復興支援演奏会を資金面でお支え下さいますようお願い申し上げます。

ハナミズキの花言葉

私の想いを受け止めてください

持続性・返礼・公平にする